



第3次石狩市環境基本計画に係る 市民・事業者アンケート調査



概要

- 目的：市民及び事業者の環境に関する意識や、市における環境の状況等を把握し、第2次環境基本計画の点検・評価と今後の環境施策の方向性の検討等に活用すること
- 実施期間：令和元年10月15日～11月15日まで
- 配布・回収：

	市民アンケート	事業者アンケート
配布数	市民の中から無作為に抽出した1,200名	石狩商工会議所及び石狩北商工会の会員事業所の中から抽出した300事業所
回収数	294名	72事業所
回収率	24.5%	24.0%



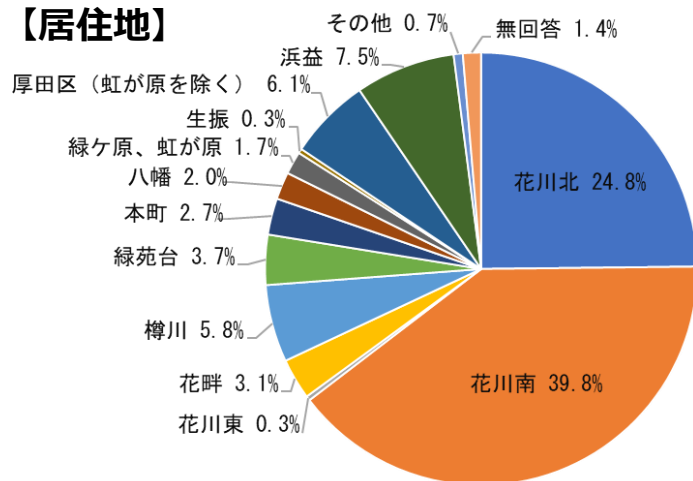
市民アンケート調査結果



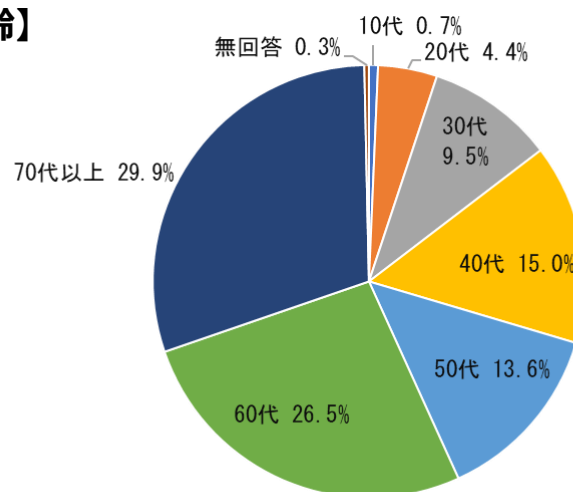
■ 回答者自身について

- ・住居地は花川南が最も多く、性別は、男性よりも女性の割合が上回った。
- ・70代以上が約30%、次いで60代が約27%と多く、10代の回答が最も少なかった。
- ・職業は無職が約30%で最も多く、次いで会社員・公務員の約20%であった。

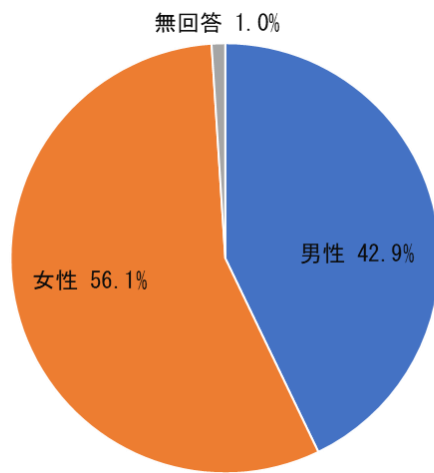
【居住地】



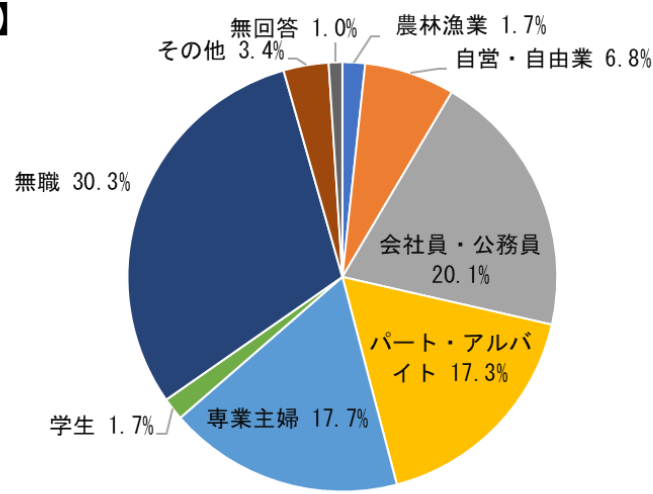
【年 齢】



【性 別】



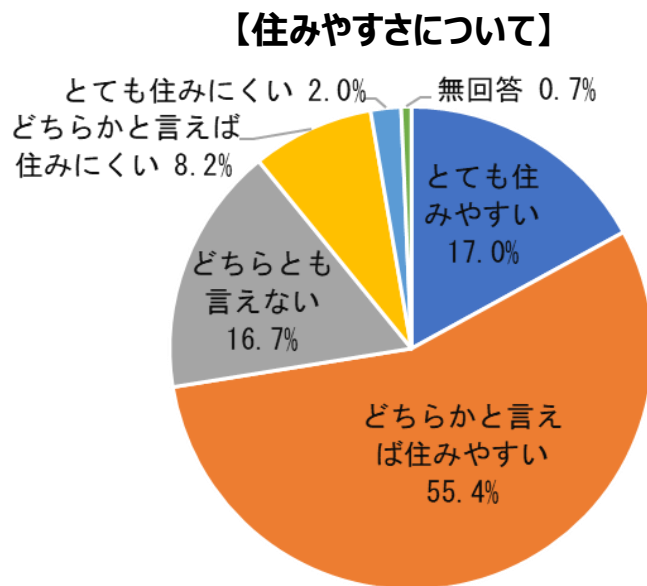
【職 業】





1.1 居住区の住みやすさについて

- ・「とても住みやすい」、「どちらかと言えば住みやすい」が、約72%であった。
- ・年齢別に見ると、40代、50代では「どちらかと言えば住みやすい」が60%以上であり、全体の割合に比べて多かった。
- ・「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」理由としては、交通の便の悪さや、買い物の不便さについての指摘が多く挙げられた。



「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」を選択した人の具体的な理由

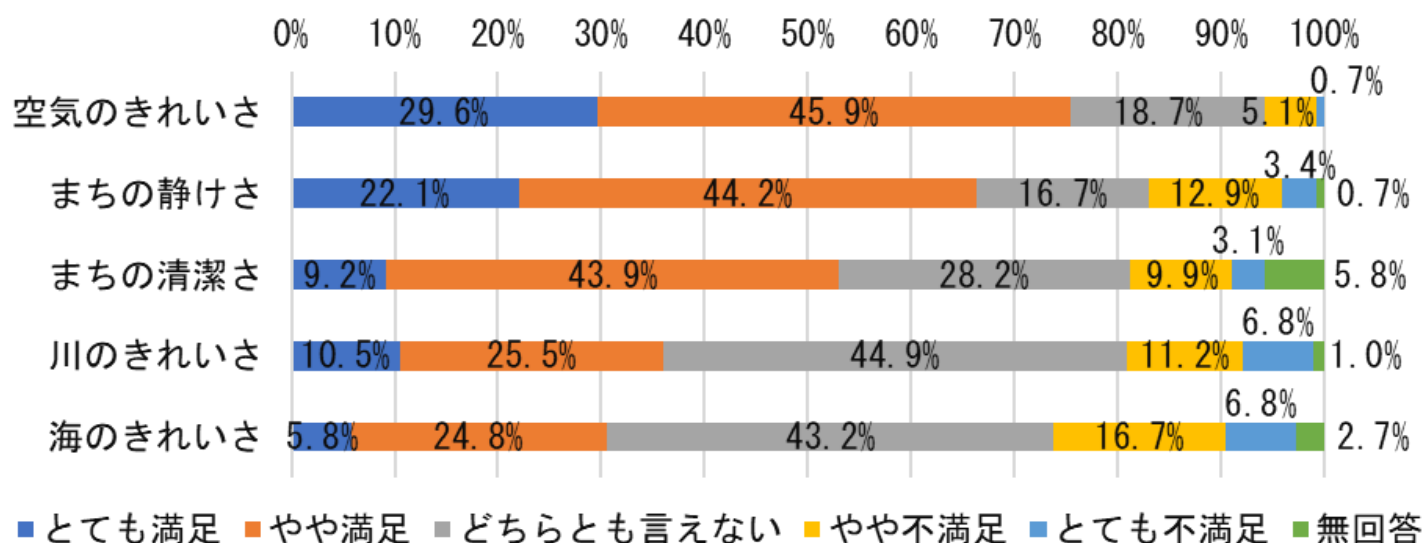
- ・交通の便が悪い。
 - ・バス賃が高く、本数が少ない。
 - ・店、銀行が少ない。
 - ・自家用車がないと生活できない。
 - ・札幌市中心部まで行く交通の便が悪い。
 - ・冬期間の除排雪に問題が多い。
- 等



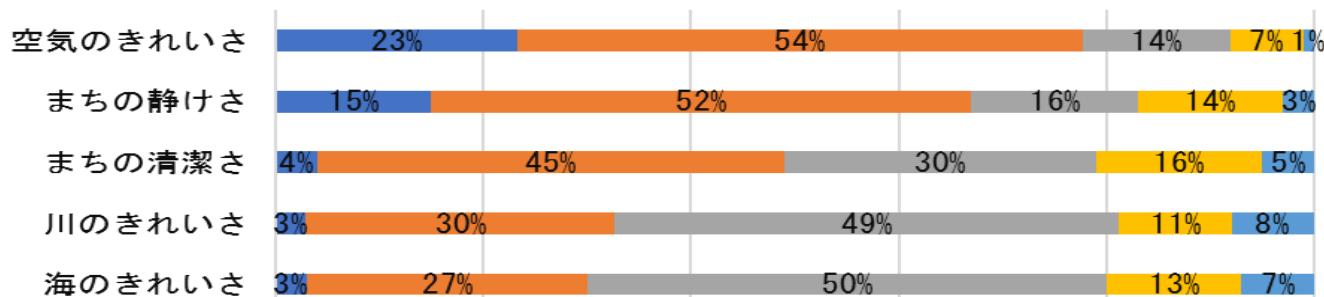
1.2 ～ 1.5 自然のきれいさ、まちの環境について

- ・空気のきれいさ、まちの静けさ・清潔さへの満足度は半数を超えているが、川・海のきれいさについての満足度は40%以下であった。
- ・H17年度のアンケート調査における満足度と比較すると、大きな差は見られなかった。

【空気、川（辺）、海（辺）のきれいさやまちの静けさ、まちの清潔さへの満足度】



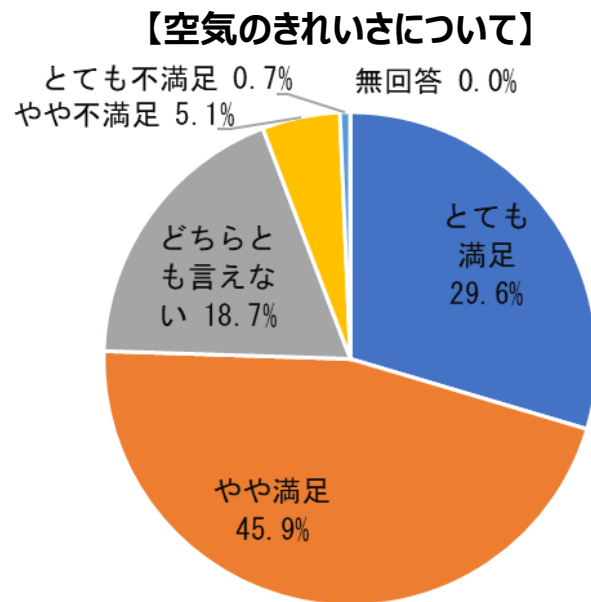
（参考）H17年度アンケート調査結果





1.2 空気のきれいさ

- ・「とても満足」、「やや満足」が、約75%であった。
- ・居住地別に見ると、浜益では「とても満足」が約96%であり、全体の割合に比べて多かった。
- ・「やや不満」、「とても不満」を選んだ理由として、農地からの臭いが気になることが多く挙げられた。



「やや不満」「とても不満」を選択した人の具体的な理由

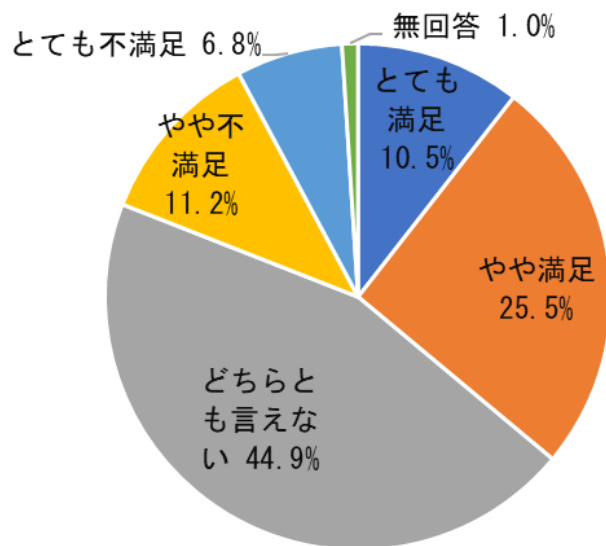
- ・風向きによって農業肥料や牧場からの臭いがしてきます。
 - ・夏の夕方、牛の糞の様なにおいがします。
 - ・物を焼いた臭い(異臭)がします。
- 等



1.3 川（辺）のきれいさ

- ・「どちらとも言えない」が、約45%で最も多かった。
- ・居住地別に見ると、「とても満足」、「やや満足」は、浜益では約82%、本町では約63%と全体の割合に比べて多く、花畔及び八幡では、「やや不満足」、「とても不満足」が50%以上と、全体の割合に比べて多かった。
- ・年齢別では、60代、70代以上で「とても満足」、「やや満足」が40%を超えていた。
- ・「やや不満」、「とても不満」を選んだ理由として、川の濁りや汚れていることが多く挙げられた。

【川(辺)のきれいさについて】



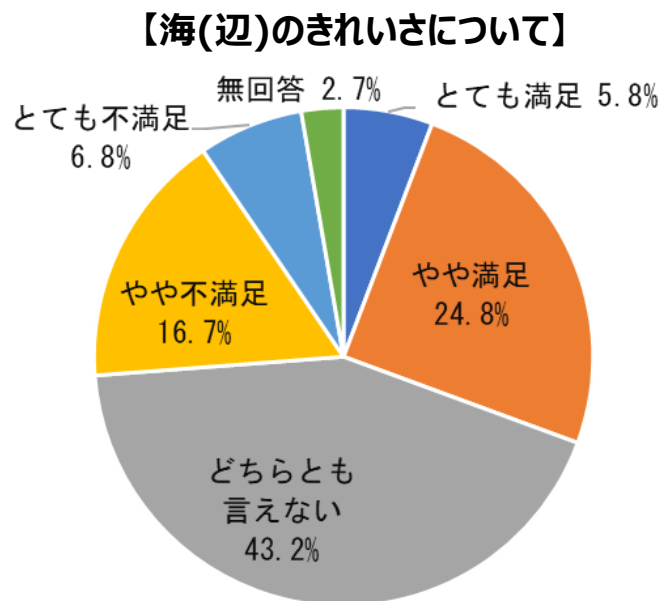
「やや不満足」「とても不満足」を選択した人の具体的な理由

- ・石狩川、茨戸川、発寒川、、、全てが濁っていて溪魚の釣りが出来ません。
 - ・下流なのでいたしかたないと思いますが、透明度が悪くなったと思います。
 - ・川辺にゴミがあります。川が濁っています。
- 等



1.4 海（辺）のきれいさ

- ・「どちらとも言えない」が、約43%で最も多かった。
- ・居住地別に見ると、「とても満足」、「やや満足」が、浜益及び本町で50%以上であり、花畔では、「やや不満足」、「とても不満足」が約67%と、全体の割合に比べて多かった。
- ・年齢別では、20代、30代で「やや不満足」、「とても不満足」が約40%であったことに対し、60代、70代以上で「とても満足」、「やや満足」が約40%であった。
- ・「やや不満足」、「とても不満足」を選んだ理由として、海にごみが多いことが多く挙げられた。



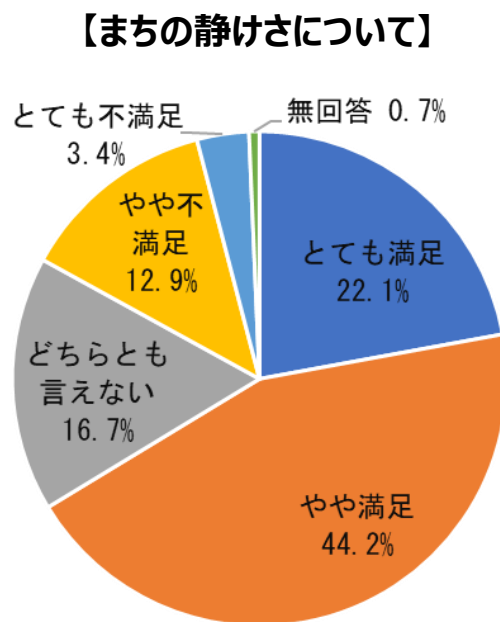
「やや不満足」「とても不満足」を選択した人の具体的な理由

- ・海辺に流れついて溜まっているごみを見たら満足とはいえません。
昔はこんなにごみはありませんでした。
 - ・石狩の海辺は全体的にゴミが多く、キレイな感じは受けません。
 - ・海が濁っています。
- 等



1.5 まちの静けさについて

- ・「とても満足」、「やや満足」は、約66%であった。
- ・年代別に見ると、60代、70代以上で「とても満足」、「やや満足」が75%以上であることにに対し、10代～30代で「どちらとも言えない」、「やや不満足」の割合が多かった。
- ・居住地別に見ると、厚田（虹が原を除く）及び浜益では、「とても満足」が全体の割合に比べて多かった。
- ・「やや不満足」、「とても不満足」を選んだ理由として、自動車やバイクの騒音が多く挙げられた。



「やや不満足」「とても不満足」を選択した人の具体的な理由

- ・道路からの自動車の騒音が大きいです。
- ・マフラー音がうるさい車が近所にあります。
- ・夏の週末はバイクの音などうるさいです。
- ・静かすぎて暗くなると不安になります。

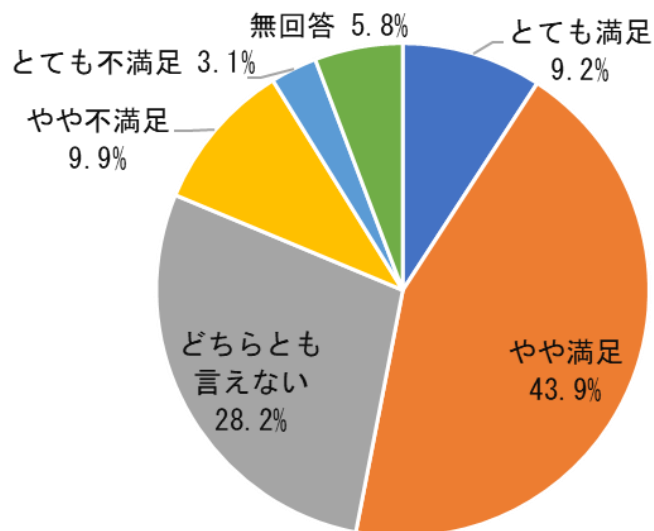
等



1.6 まちの清潔さ（美観）について

- ・「とても満足」、「やや満足」が、約53%であった。
- ・年代別に見ると、40代では「やや満足」、30代では「どちらとも言えない」が、全体の割合に比べて多かった。
- ・居住地別に見ると、全体の割合に比べて、浜益及び緑苑台では「とても満足」、「やや満足」が多く、花畔で「やや不満足」、「不満足」が多かった。
- ・「やや不満足」、「とても不満足」を選んだ理由として、ごみが捨てられていることが多く挙げられた。

【まちの清潔さ（美観）について】



「やや不満足」「とても不満足」を選択した人の具体的な理由

- ・遊歩道にペットボトル、コンビニの袋などが捨てられています。
- ・けっこう犬の糞が落ちています。
- ・不法投棄やポイステのゴミを見かけます。

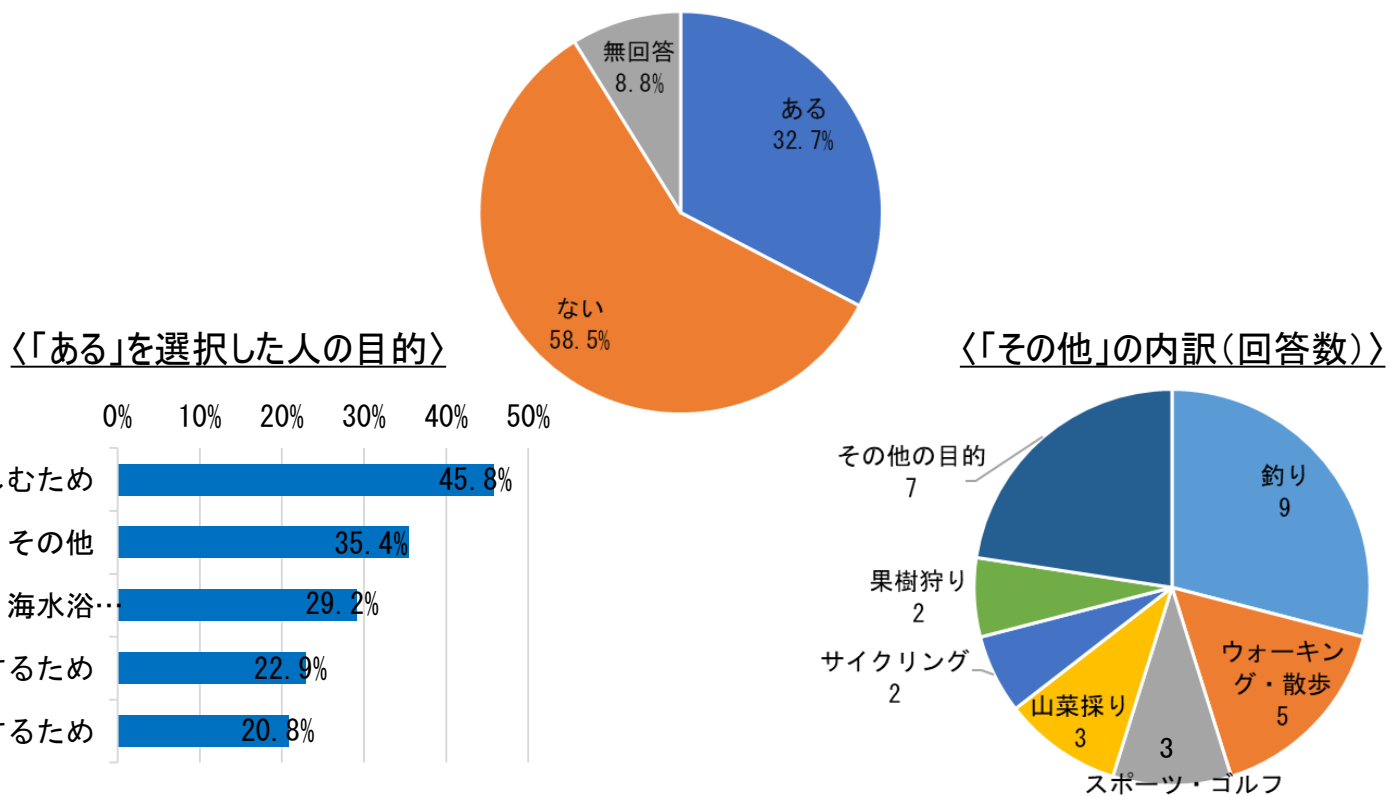
等



1.7 過去1年間でレクリエーションなどで石狩市内の自然に出かけたことがあるか

- ・「過去1年間に、石狩市内の自然へ出かけたことがない」が、約59%であった。
- ・年代別に見ると、全体の割合に比べ、70代以上で「ある」の割合が高く、40代、50代で「ない」の割合が多かった。
- ・居住地別に見ると、本町及び浜益で「ある」が45%以上であり、全体の割合に比べて多かった。
- ・「ある」の中では、風景を楽しむ目的が多かった。

【過去1年の間にレクリエーションなどで、石狩市内の自然の多いところへ出かけたことがあるか。】





1.8 次世代に残したい・守りたい石狩市の自然

- ・残したい・守りたい石狩市の自然環境として「海」が最も多く挙げられた。
- ・「海岸線」や「海浜植物」、「石狩浜」、「マクンベツ湿原」など具体的な場所のほか、「農風景」や「自然と人のつながり」など、抽象的な意見も挙げられた。

【次世代に残していきたい、守っていききたいと考える石狩市の自然環境】

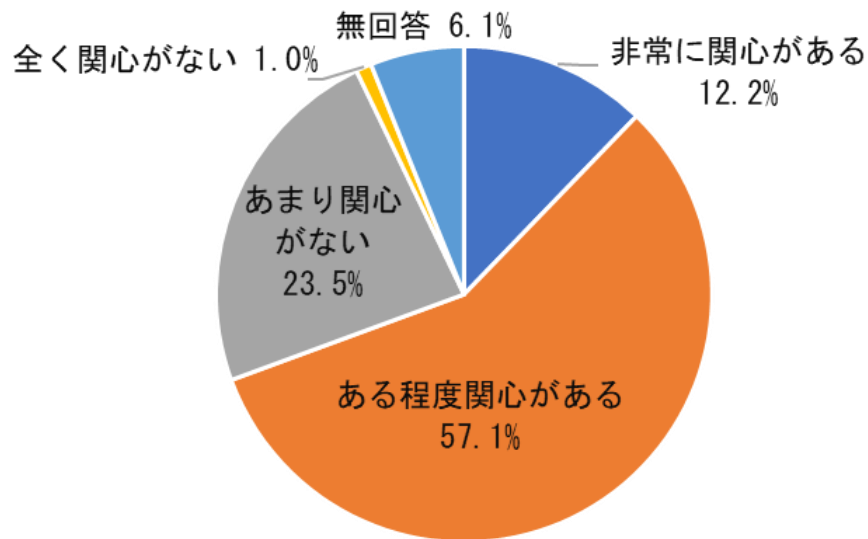
- ・ 石狩浜の生態系(植物の保存) ・ 浜益温泉 ・ 番屋の湯 ・ マクンベツ湿原 ・ 農風景
- ・ 防風林 ・ 石狩川 ・ 海岸線の景色 ・ ハマナス ・ ハマボウフウ
- ・ 高い建物が少なく空気がきれいな環境 ・ きれいな海、砂浜、夕日の見える風景
- ・ 浜益の黄金山の風景 ・ 荘内藩のハママシケ陣屋跡 ・ 浜益の千本ナラ ・ 黄金山のイチイの木
- ・ 本来の自然と人間のつながり、助け合う気持ちを育む環境
- ・ 今あるものを大事にする。手入れ（ゴミの回収・草刈り等）はするが、それ以上のことはしない



2.1 エネルギー問題への関心について

- ・「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」が、約69%であった。
- ・年代別に見ると、「非常に関心がある」、「やや関心がある」は、50代～70代以上では75%以上と割合が多いことに対して、20代、30代では約50%と割合は低かった。
- ・居住地別に見ると、花川南及び本町では、「非常に関心がある」、「やや関心がある」が75%以上と割合が多いことに対して、厚田では、「あまり関心がない」が約50%と割合が多かった。

【エネルギー問題についてどの程度関心があるか】

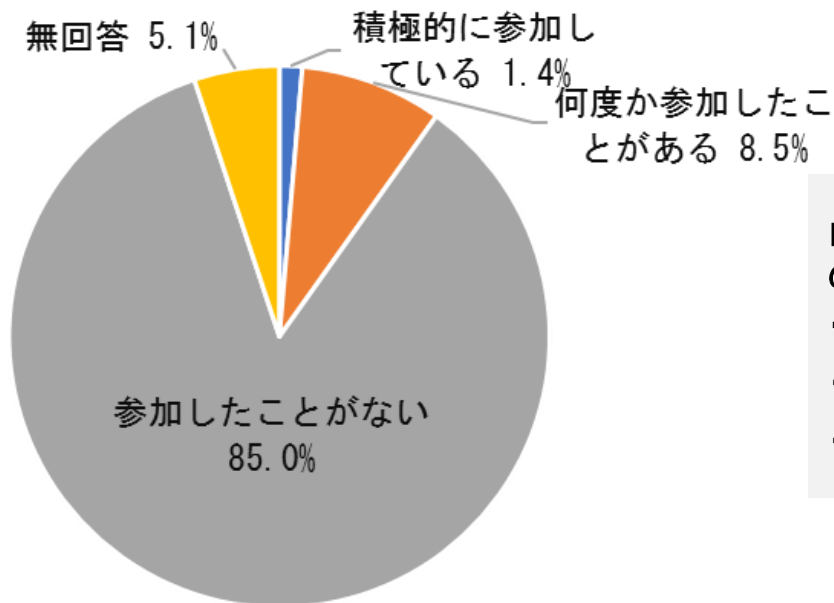




2.2 環境講座、自然観察会や緑化活動などの地域活動への参加の有無

- ・「参加したことがない」が、85%であった。
- ・年代別に見ると、20代、40代、50代で「参加したことがない」は、90%以上と割合が多かった。
- ・居住地別に見ると、浜益及び緑苑台では、「積極的に参加している」、「何度か参加したことがある」が約30%であり、全体の割合に比べて多かった。
- ・「これまでに参加した、今後参加したいと思う地域活動」についての自由記述では、植栽活動と清掃活動が多く挙げられた。

【環境講座、自然観察会や緑化活動など地域活動への参加】



「これまでに参加した・今後参加したいと思う地域活動」についての自由記述

- ・植樹、町内会花壇
- ・ゴミ拾い、草刈りなど
- ・石狩浜の清掃

等

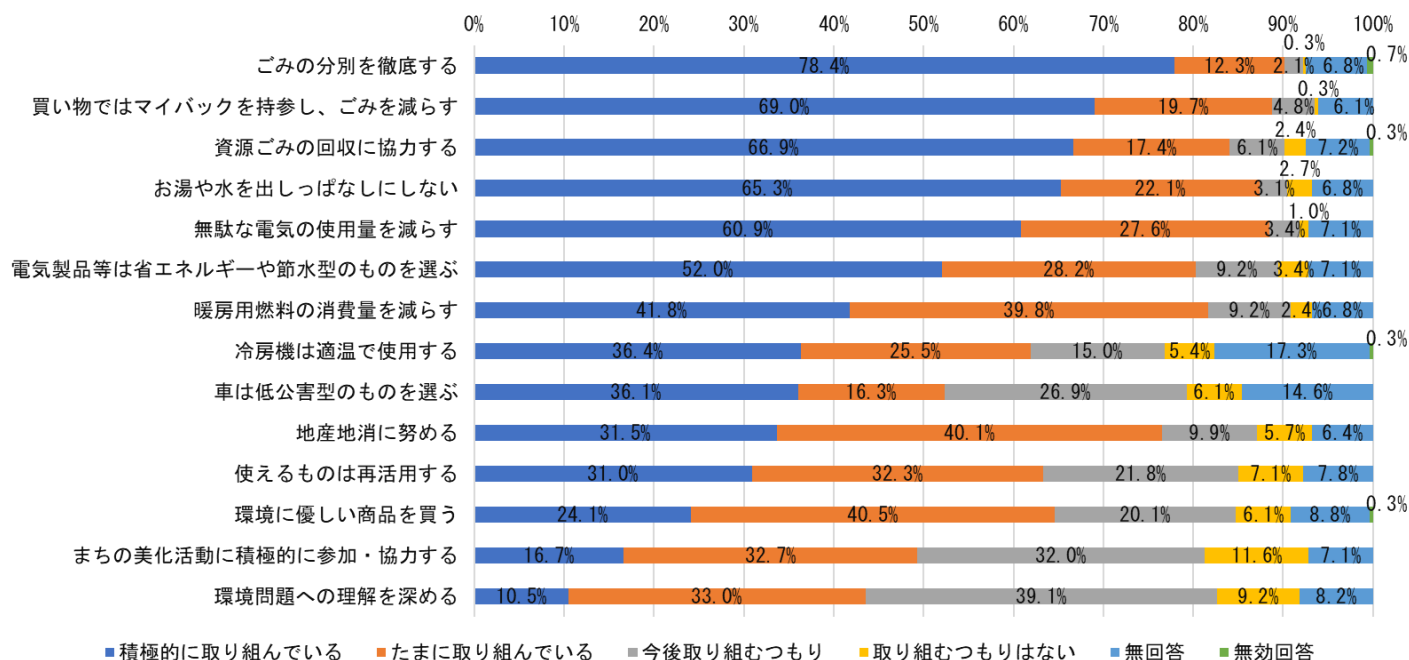


2.3 環境保全に関する取組状況(1/5)

○総 評

- ・「ごみの分別を徹底する」、「買い物ではマイバックを持参し、ごみを減らす」、「お湯や水を出しっぱなしにしない」や「無駄な電気の使用量を減らす」など、ごみ減量化や節電・節水などの日常の取組は、積極的に取り組まれていた。
- ・「まちの美化活動に積極的に参加・協力する」、「環境イベントの参加などを通じて環境問題への理解を深める」など、イベントや地域活動の参加については、消極的であった。

【回答者の日頃の環境保全に関する取組状況】





2.3 環境保全に関する取り組み状況(2/5)

○個別取組

(1) まちの美化活動（ごみ拾い等）に積極的に参加・協力する

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」の割合は、60代、70代以上では約60%と多いことに対して、20代、30代では30%未満と少ない傾向にあった。
- ・年齢別に見ると、20代、40代、50代では、「今後取り組むつもり」の割合が50%前後で最も多いことに対して、30代では、「取り組むつもりはない」が約36%と最も多くなっていた。

(2) 電化製品等は、省エネルギーや節水型のものを選ぶ

- ・年齢別に見ると、20代を除く全ての年齢で、「積極的に取り組んでいる」という割合が50%以上であり、最も多い割合であった。
- ・20代では、「積極的に取り組んでいる」が約23%で少ない傾向にあるとともに、「今後取り組むつもり」及び「取り組むつもりはない」が合わせて約39%と、現在、取り組んでいない割合が、ほかの年齢と比較して多い傾向にあった。

(3) 使っていない部屋の照明や見ていない時のテレビをこまめに消すなど、無駄な電気の使用量を減らす。

- ・年齢別に見ると、全ての年代で「積極的に取り組んでいる」及び「たまに取り組んでいる」の割合が多く、特に40代においては、約98%であった。



2.3 環境保全に関する取り組み状況(3 / 5)

○個別取組

(4) 冬は厚着をして暖房の使用を控え、暖房用燃料の使用量を減らす

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、40代が約91%で最も多く、20代が約69%と最も少なかった。

(5) 冷房機は適温（28度設定）で使用する

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、50代が70%と最も多く、20代、60代が55%前後と少ない傾向にあった。

(6) 環境に優しい商品（エコマーク商品やグリーンマーク商品など環境ラベルのついた商品）を買う

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、70代以上が約80%と最も多く、20代が約31%、30代が約46%と少ない傾向にあった。

(7) シャワー、洗顔、歯磨きをするときなどは、お湯や水を流しっぱなしにしない

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、どの年代においても80%以上であり、積極的に取り組まれていた。



2.3 環境保全に関する取り組み状況(4 / 5)

○個別取組

(8) 車を購入するときは、低公害型のものを選ぶ

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、40代～70代以上では50%以上と多い傾向にあることに対して、20代は約31%、30代は約39%と少ない傾向にあった。

(9) 食品などを購入する際には、地域で取れるものを優先し、地産地消に努める

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、40代～70代以上では70%以上と多い傾向にあることに対して、20代は約31%、30代は約68%と少ない傾向にあった。

(10) ごみの分別を徹底する

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」は、40代以上では70%以上と多い傾向にあることに対して、20代は約46%、30代は約68%と少ない傾向にあった。

(11) 町内会等で実施している集団資源回収や、民間の資源回収拠点を利用するなど、資源ごみの回収に協力する

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、40代～70代以上では80%以上と多い傾向にあることに対して、20代は約62%と少ない傾向にあった



2.3 環境保全に関する取り組み状況(5 / 5)

○個別取組

(12) 使えるものはリサイクルショップやフリーマーケットで再活用する

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、20代は約77%、30代は約68%、40代は約82%と多い傾向にあることに対して、50代～70代以上では、60%以下と、少ない傾向にあった。

(13) 買い物ではマイバッグ（エコバッグ）を持参し、過剰包装やレジ袋を断るなど、ごみを減らす

- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、30代、40代、50代、70代以上では、90%以上であったが、20代、60代では、80%前後と多い傾向にあるものの、他の年代と比較して少ない傾向であった。

(14) 環境イベントへの参加や、環境に関する報道・出版物などを活用し、環境問題への理解を深める

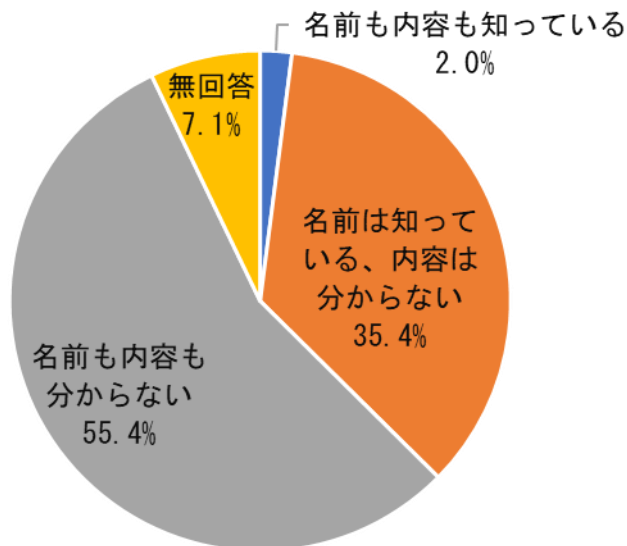
- ・年齢別に見ると、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」は、70代以上では約61%と多い傾向にあったが、40代～60代では35%前後、20代～30代では25%前後と、少ない傾向にあった。



3.1 「石狩市環境基本計画」を知っているか

- ・「名前も内容も知っている」、「名前は知っているが、内容はわからない」が、約37%であったことに対して、「名前も内容も分からない」は、約55%であった。
- ・年齢別に見ると、「名前も内容も知っている」、「名前は知っているが、内容はわからない」は、20代～50代は30%未満と少ない傾向にあることに対して、60代、70代以上では、50%前後と多い傾向にあった。

【「石狩市環境基本計画」を知っているか】

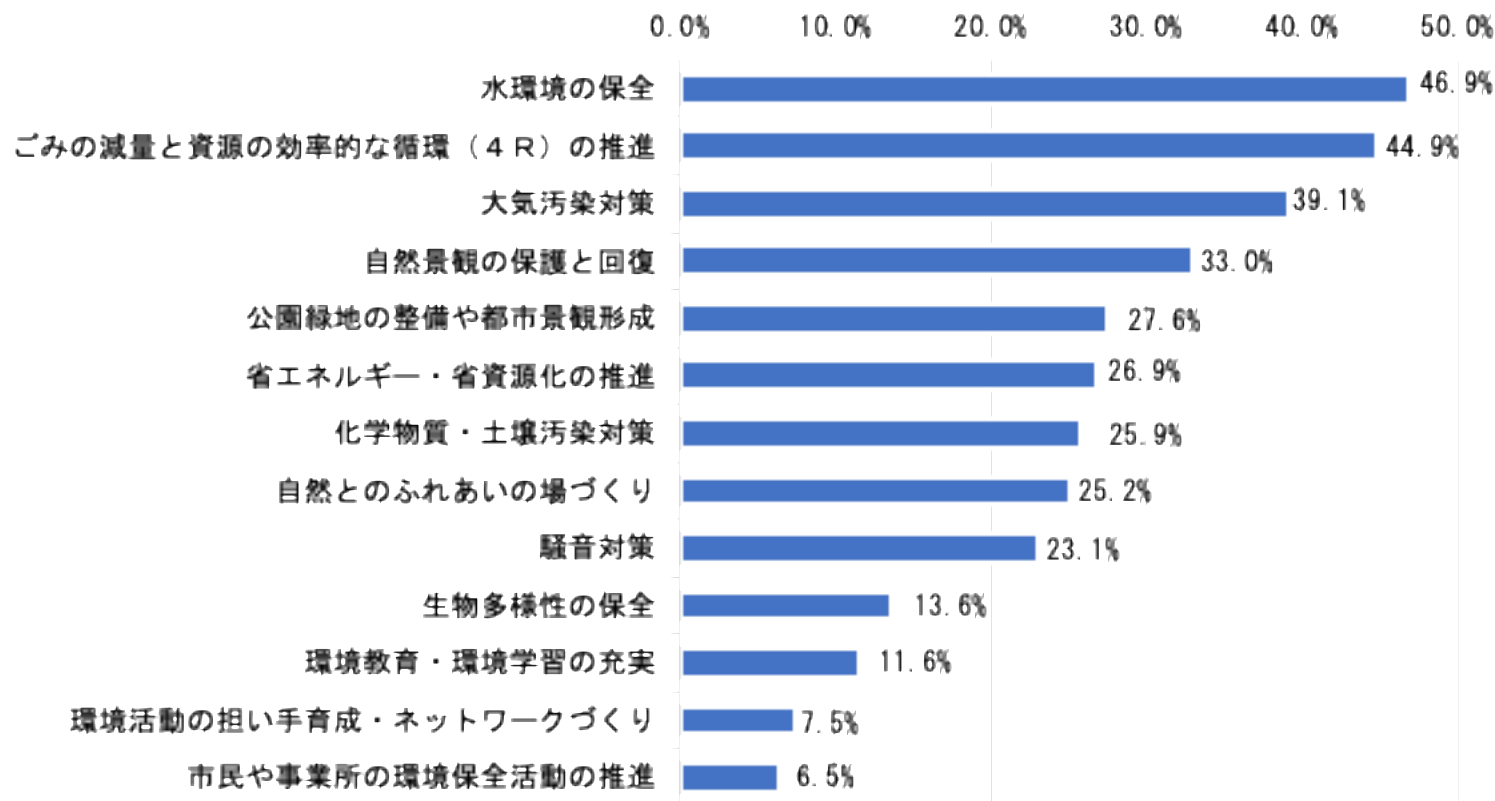




3.2 石狩市の環境保全に対する取組について、優先して取り組むことを希望する項目

- ・最も多い回答は「水環境の保全」で約47%であり、次いで、「ごみの減量と資源の効率的な循環（4 R）の推進」が約45%であった。
- ・年齢別による差は見られなかった。

【石狩市の環境保全に対する取組について、回答者が優先して取り組むことを希望する項目】



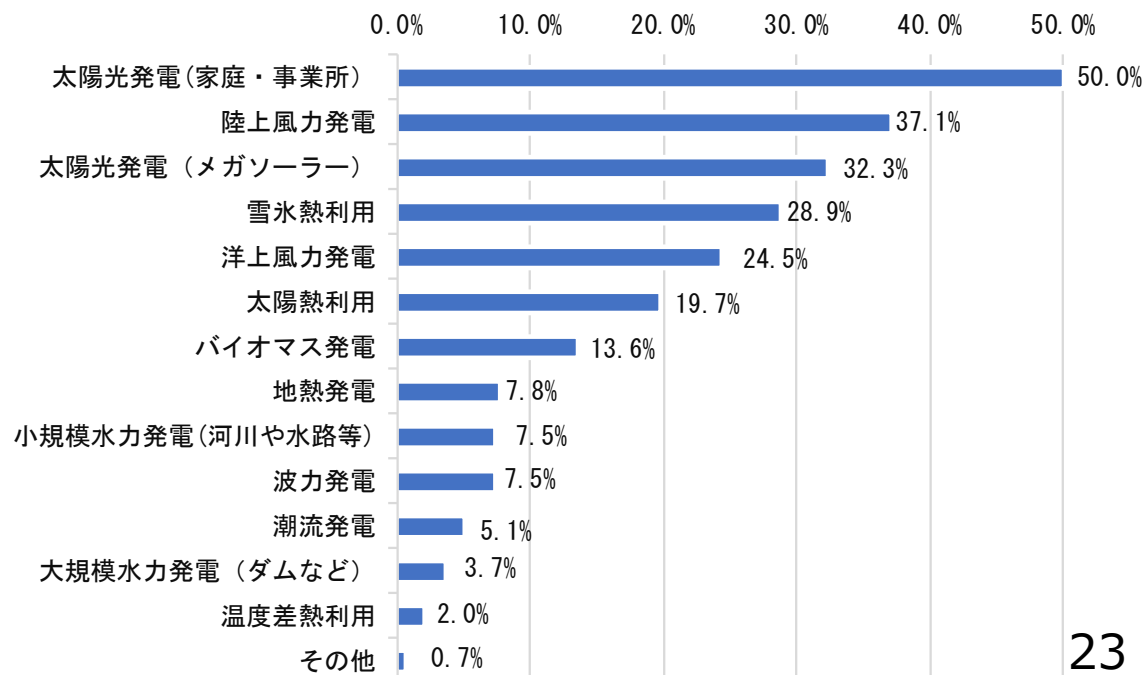
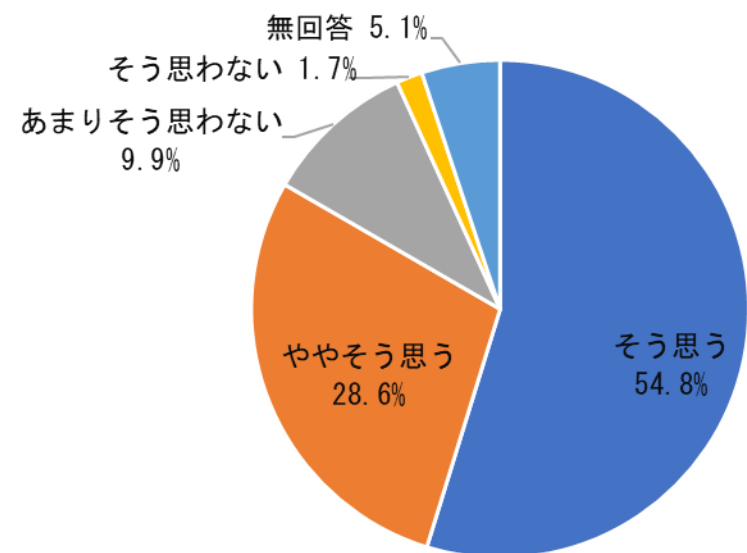


3.3 石狩市で再生可能エネルギー事業を推進することは大切だと思うか

- ・「そう思う」、「ややそう思う」が、約83%であった。
- ・年代別に見ると、「そう思う」、「ややそう思う」は、20代で約92%と最も多かった。
- ・望ましいエネルギー種は、「太陽光発電」が50%と最も多く、次いで、「陸上風力発電」が約37%であった。

【石狩市で再生可能エネルギー事業を推進することは大切だと思うか】

〈望ましいと思うエネルギー種〉





3.4 石狩市の環境状況や取組への意見（自由記述）

・88名（約30％）の方から意見が挙げられた。

一部抜粋

再生可能エネルギー発電について

・太陽光発電や洋上風力発電などに取り組んでいますが、そのことに対して市民への情報をもっとほしいと思います。

等

ごみについて

・ごみ回収・廃品回収・みどりのリサイクルなど、市・町内会等の活動が活発になってきたと思います。

・街道、砂浜周辺に布団や大きいテーブル、椅子、またビニール等のごみを捨てる人が多いのにビックリします。

等

市の取組について

・石狩市がどのような取組をしているのかが、あまり知られていないように思います。

・市の環境活動が見えてきません。

等

暮らしやすいまちについて

・若い人が暮らしやすい環境、札幌市との交通連携、特色のある教育など、石狩でしかできないようなことをしてほしいです。

等

自然環境について

・野幌森林公園のように、自然との触れ合いの場があると良いです。

・自然が豊かなことに気づいていない人が多いです。

等

交通について

・市内バスが運行されればもっと老人が積極的に行動できるのでは、と思います。

防災について

・津波の時の高台を増やしてほしいです。

等



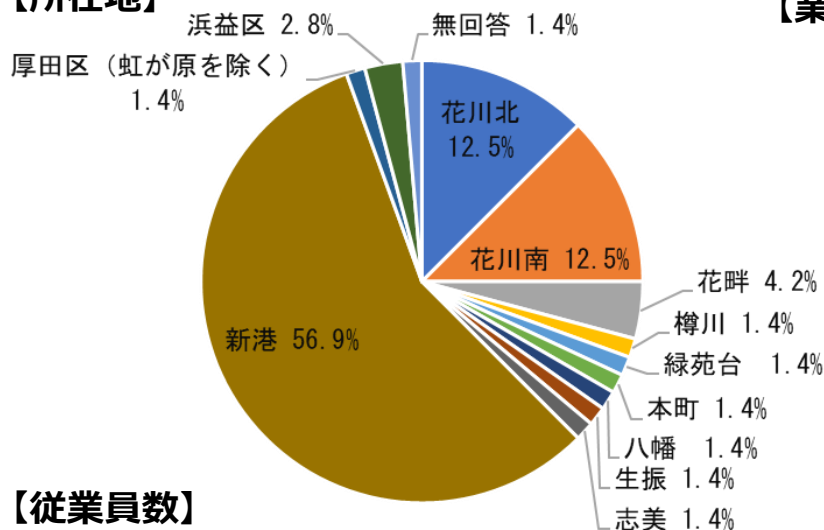
事業者アンケート調査結果



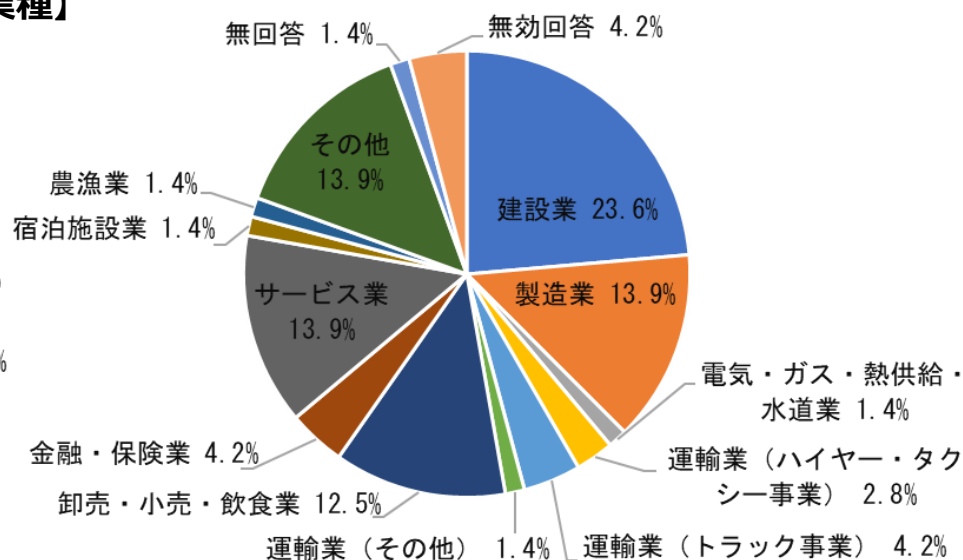
■ 回答事業所の属性について

- ・所在地は、新港が約57%で最も多く、次いで花川北・花川南が約13%であった。
- ・業種は、建設業が約24%と最も多く、次いで製造業・サービス業が約14%であった。
- ・従業員数は、50名以内事業所が約81%であった。

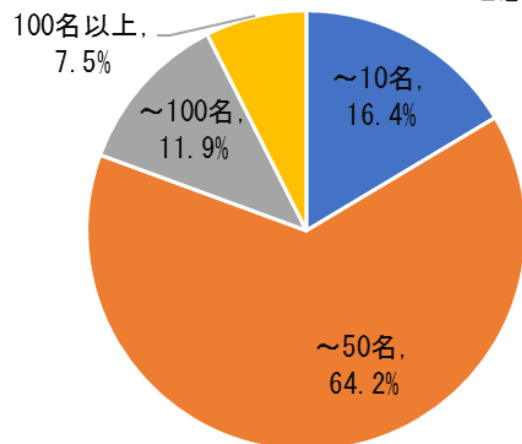
【所在地】



【業種】



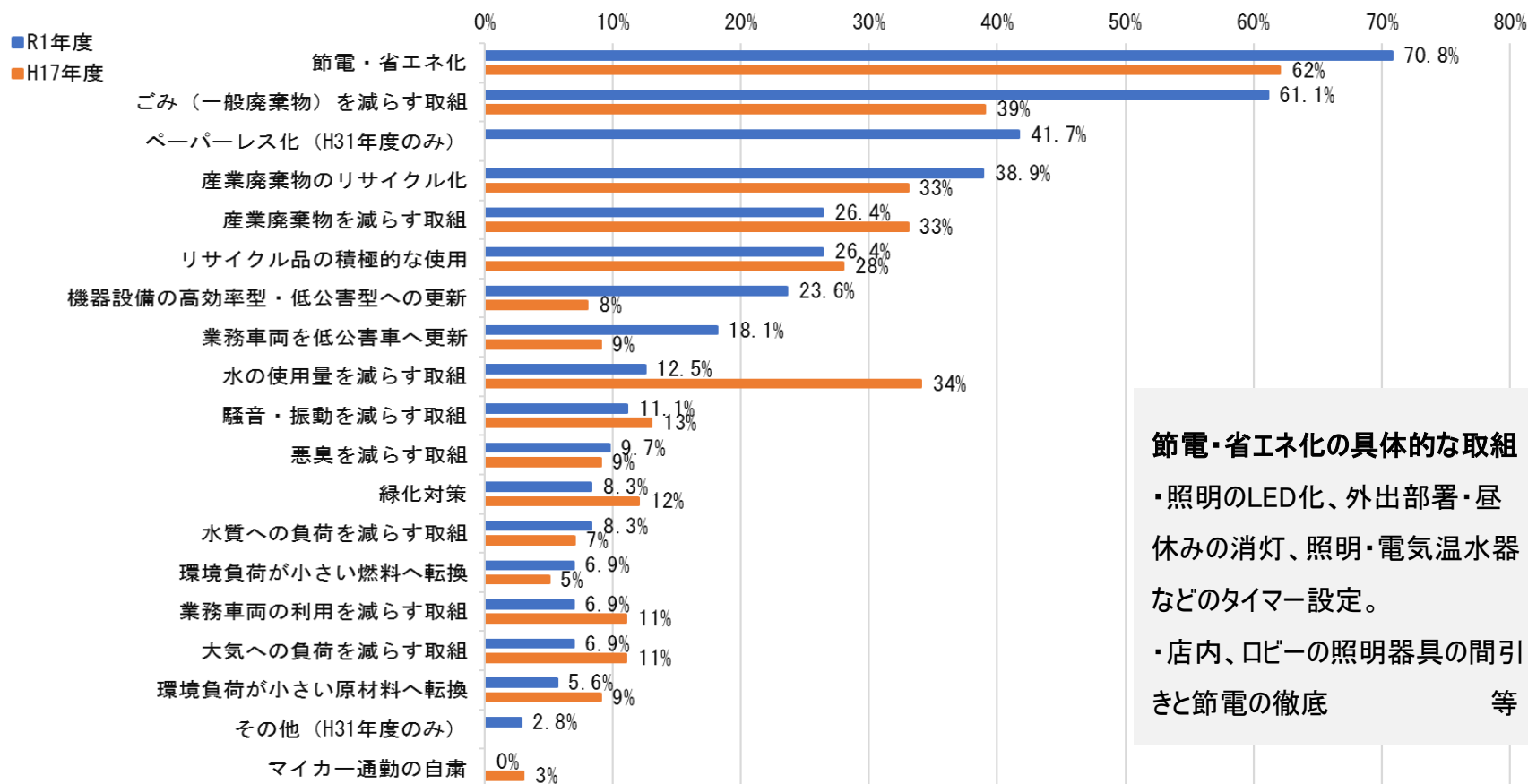
【従業員数】



1.1 環境への負担低減のための取組について

- ・「節電・省エネ化」を「実施している」と回答した事業所は約71%で最も多く、「マイカー通勤の自粛」は0%で消極的であった。
- ・「節電・省エネ化」の具体的な取組として挙げられたのは、LED化や、こまめな消灯・照明器具の間引きが多く挙げられた。

【環境への負荷を低減するために実施している項目】



節電・省エネ化の具体的な取組

・照明のLED化、外出部署・昼休みの消灯、照明・電気温水器などのタイマー設定。

・店内、ロビーの照明器具の間引きと節電の徹底 等

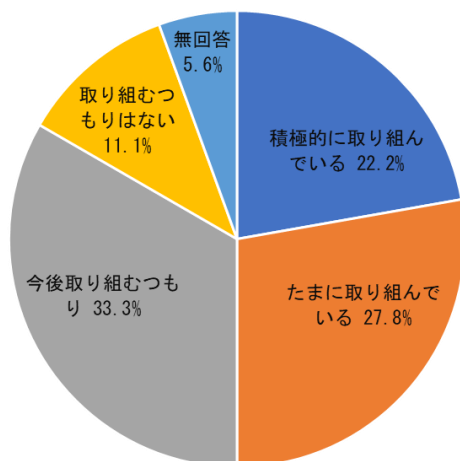


1.2 環境教育・環境活動への取組について

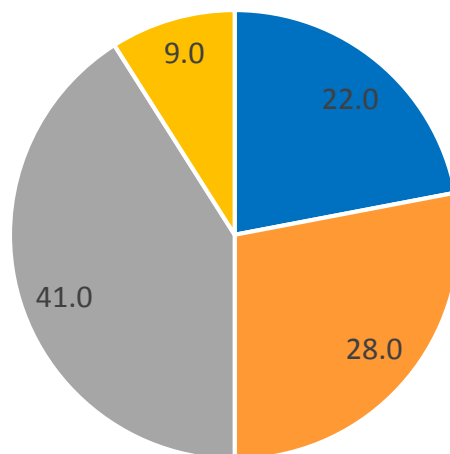
- ・「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」が、約50%であった。
- ・業種別に見ると、金融・保険業及びサービス業では、「積極的に取り組んでいる」、「たまに取り組んでいる」が70%以上であることに対して、製造業及び運送業（トラック事業）では、「今は取り組んでいないが、今後取り組むつもりである」が60%以上であった。
- ・取り組んでいる内容、又は今後取り組む予定の内容の自由記述では、ごみひろいが最も多く挙げられた。
- ・取り組んでいない理由、取り組む際の問題点・課題点については、人材不足や時間の確保の問題などが挙げられた。

【環境教育・環境活動への取組】

(R1年度)



(H17年度)



取り組んでいる内容、又は今後取り組む予定の内容

- ・地域のクリーン活動への参加(春・秋)をしています。
- ・毎年1回、社屋周辺の清掃活動に取り組んでいます。等

取り組んでいない理由、取り組む際の問題点・課題点

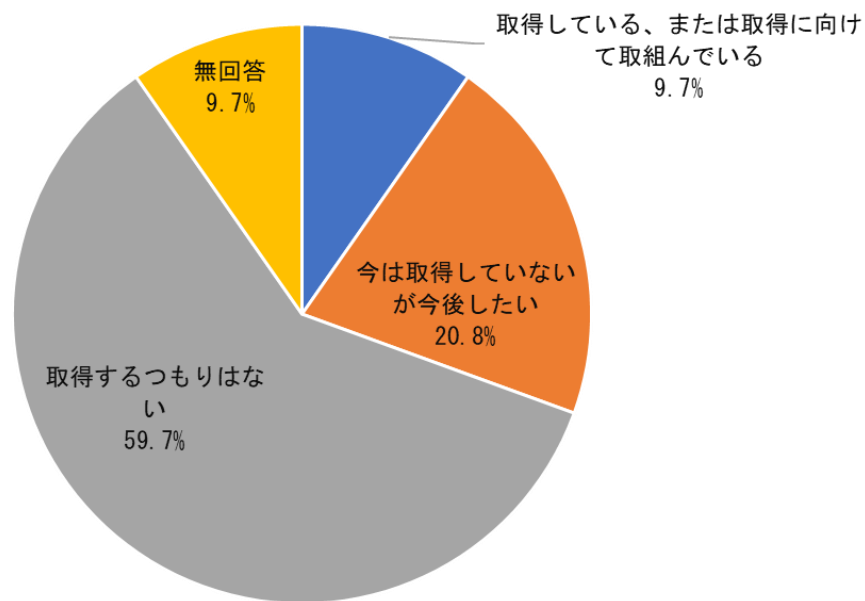
- ・人手不足の慢性化により、取り組むことができません。
- ・社内体制の整備が必要です。等



1.3 環境マネジメントシステムの認証を取得しているか

- ・「取得するつもりはない」は、約60%であった。
- ・取り組むうえでの問題・課題点としては、ISO14001に対する意見で、具体的な長期運営や維持に対する問題・課題点などが最も挙げられた。
- ・取得するうえでの問題・課題点としては、ISO14001に対する意見で、時間的又は人員不足による問題・課題点などが最も多く挙げられた。
- ・取得しない理由としては、「知識不足」が最も多く挙げられた。

【環境マネジメントシステムの認証を取得しているか】



取り組むうえでの問題・課題点

○ISO14001について

- ・日常行っている業務でISOを取得するように心がけます。
- ・長期運営に伴うマンネリ感があります。

等

取得するうえでの問題点・課題点

○ISO14001について

- ・時間がありません。
- ・人員不足による、管理する者がいません。

等

○HESに対する意見

- ・HESへの取組みの方法がわかりません。

等

○品質保証ISO9001に対する意見

- ・時間的問題があります。

等

○エコアクション21に対する意見

- ・費用が問題・課題点です。

等

取得しない理由

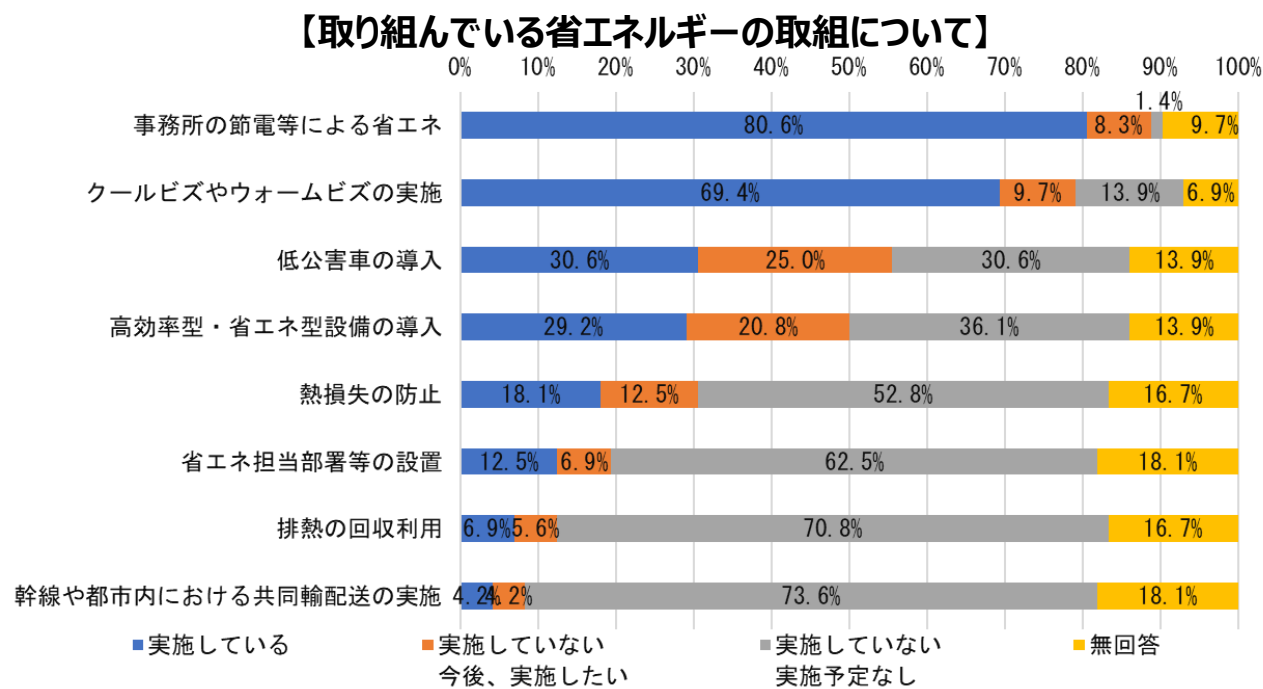
- ・知識不足で上記の仕組みを理解していないため。
- ・認証手続きに関わる職員を確保できません。

等



1.4 取り組んでいる省エネルギーの取組について

- ・「事務所の節電等による省エネ」、「クールビズやウォームビズの実施」については、半数以上が実施していた。
- ・「熱損失の防止」、「排熱の回収利用」、「省エネ担当部署等の設置」及び「幹線や都市内における共同輸配送の実施」については、半数以上が「実施しておらず、今後も実施予定はない」であった。
- ・業種別に見ると、「排熱回収の利用」について、建設業及び製造業で「実施予定なし」が全体の割合に比べて多かった。
- ・業種別に見ると、「省エネ担当部署の設置」、「クールビズやウォームビズ」及び「低公害車の導入」について、製造業で「実施予定なし」が全体の割合に比べて多かった。

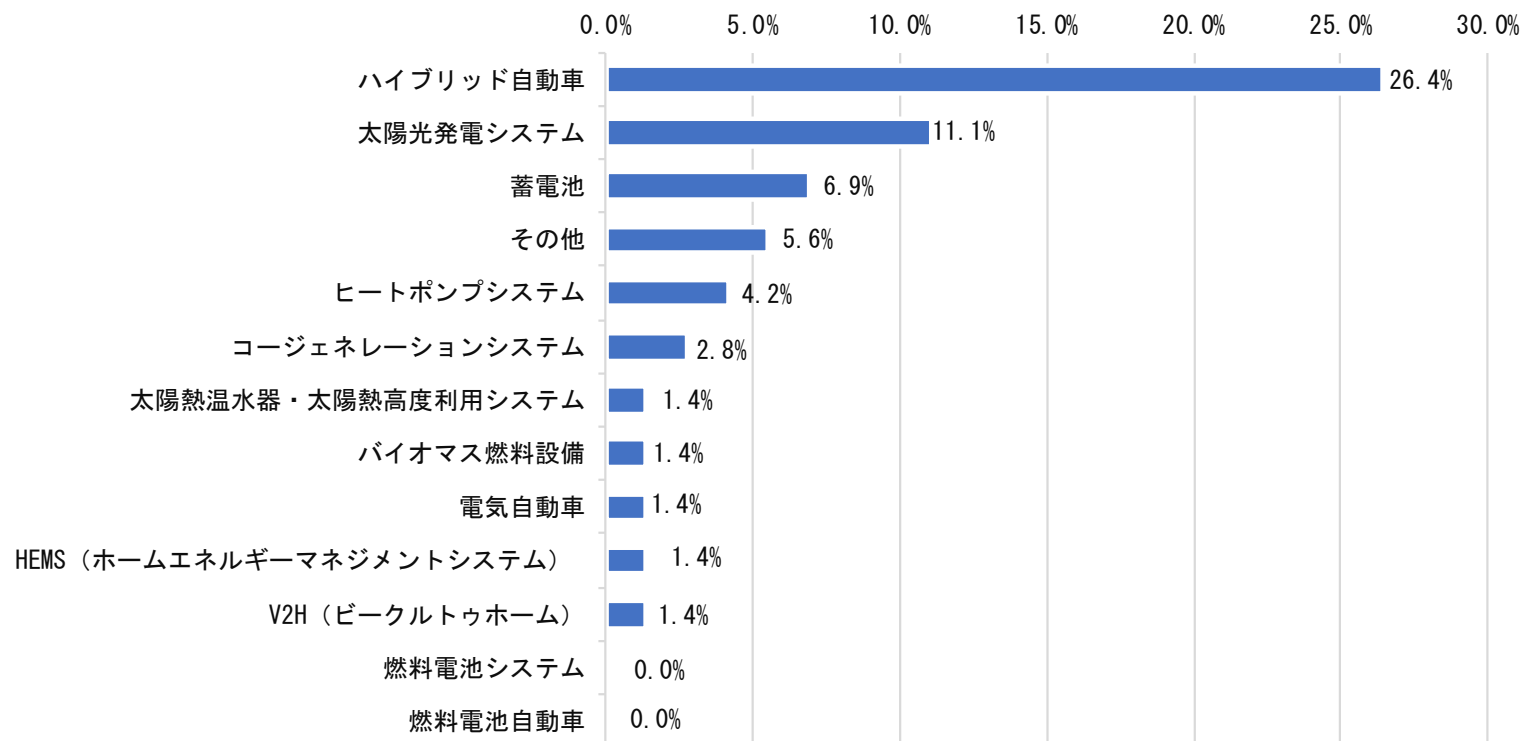




1.5 導入している再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備について

- ・「ハイブリッド自動車」を導入している事業所が約26%と最も多く、次いで、「太陽光発電システム」が約11%であった。
- ・その他の設備については、いずれも10%未満であり、導入に対して消極的であった。

【導入している再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備について】

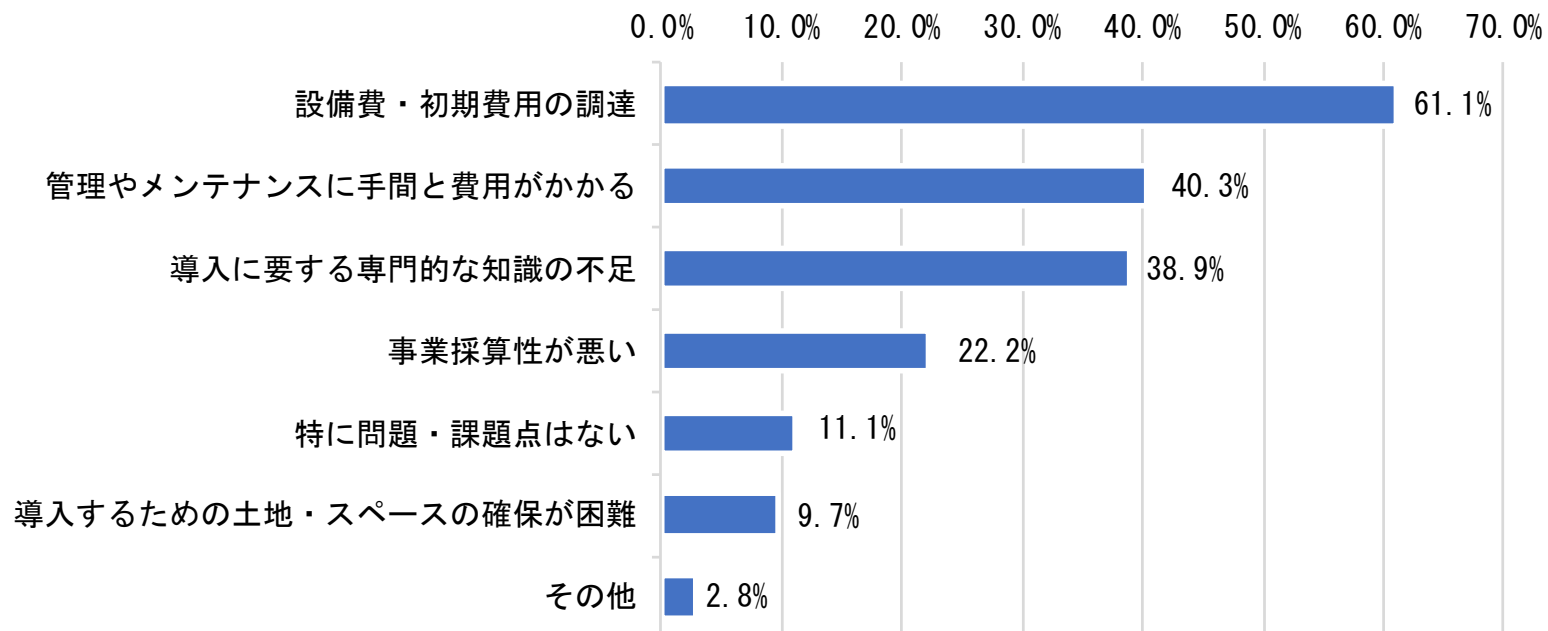




1.6 再生可能エネルギー活用や省エネルギー設備を導入するうえでの問題点・課題点

・問題点・課題点としては、「設備費・初期費用の調達」が約61%。次いで、「管理やメンテナンスに手間と費用が掛かる」が約40%であった。

【再生可能エネルギー活用や省エネルギー設備を導入するうえでの問題点・課題点】

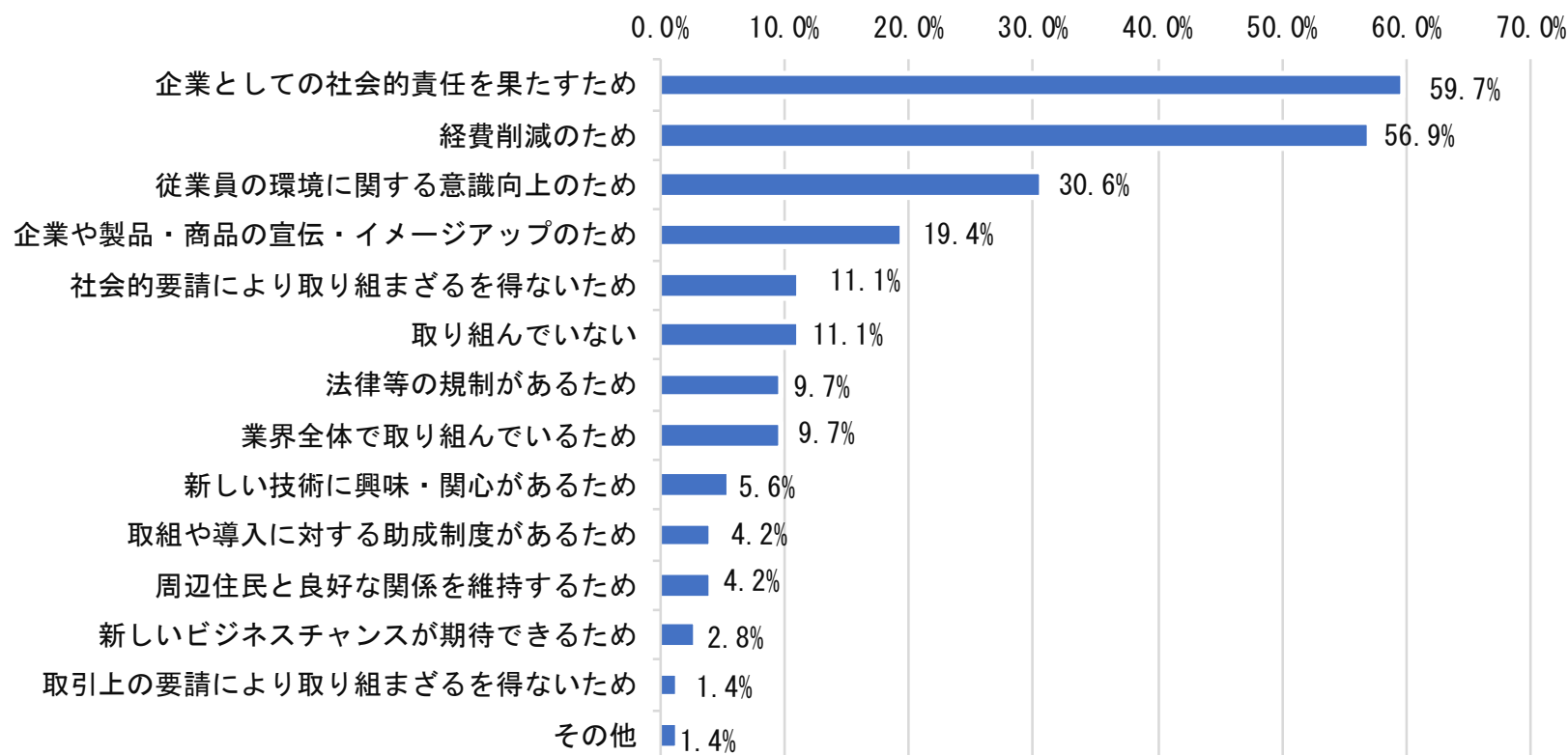




1.7 再生可能エネルギー活用・省エネルギーの取組等で環境負担低減を図る理由

・「企業としての社会的責任を果たすため」が約60%で最も多く、次いで、「経費削減のため」が約57%であった。

【環境対策に関する企業への支援・助成について、石狩市が優先して取り組むべきだと思う項目】





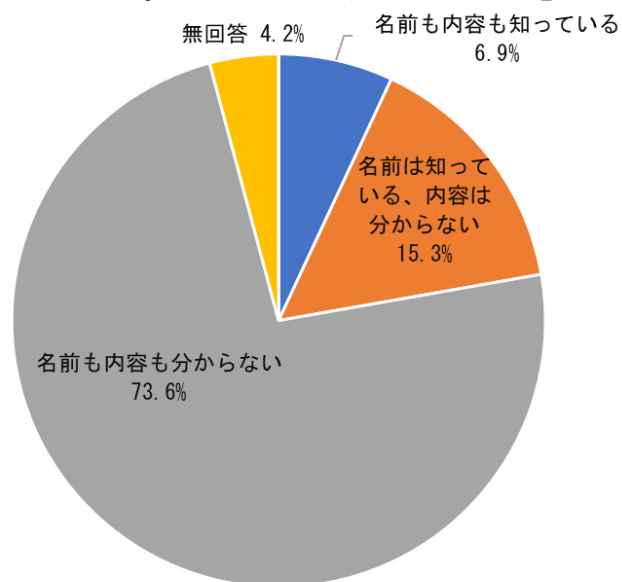
1.8 いしかりJ-VERを認知しているか

- ・「名前も内容も分からない」が、約74%で最も多かった。

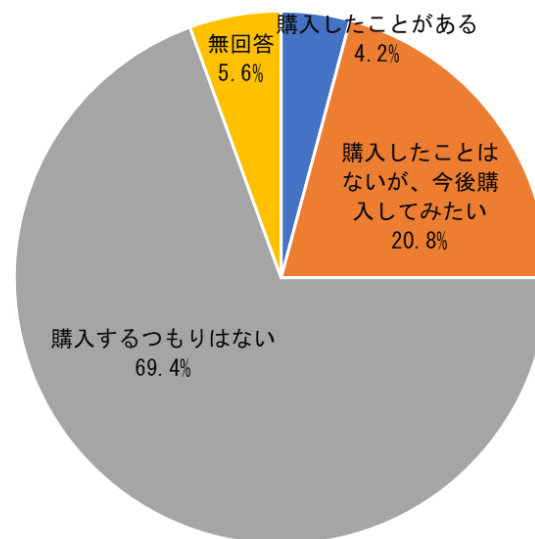
1.9 いしかりJ-VERの購入意欲について

- ・「購入するつもりはない」が、約70%で最も多かった。
- ・業種別に見ると、建設業及び製造業で「購入したことがある」、「購入したことはないが、今後購入してみたい」の割合が、40%以上と全体の割合に比べて多かった。

【いしかりJ-VERを認知しているか】



【いしかりJ-VERの購入意欲】

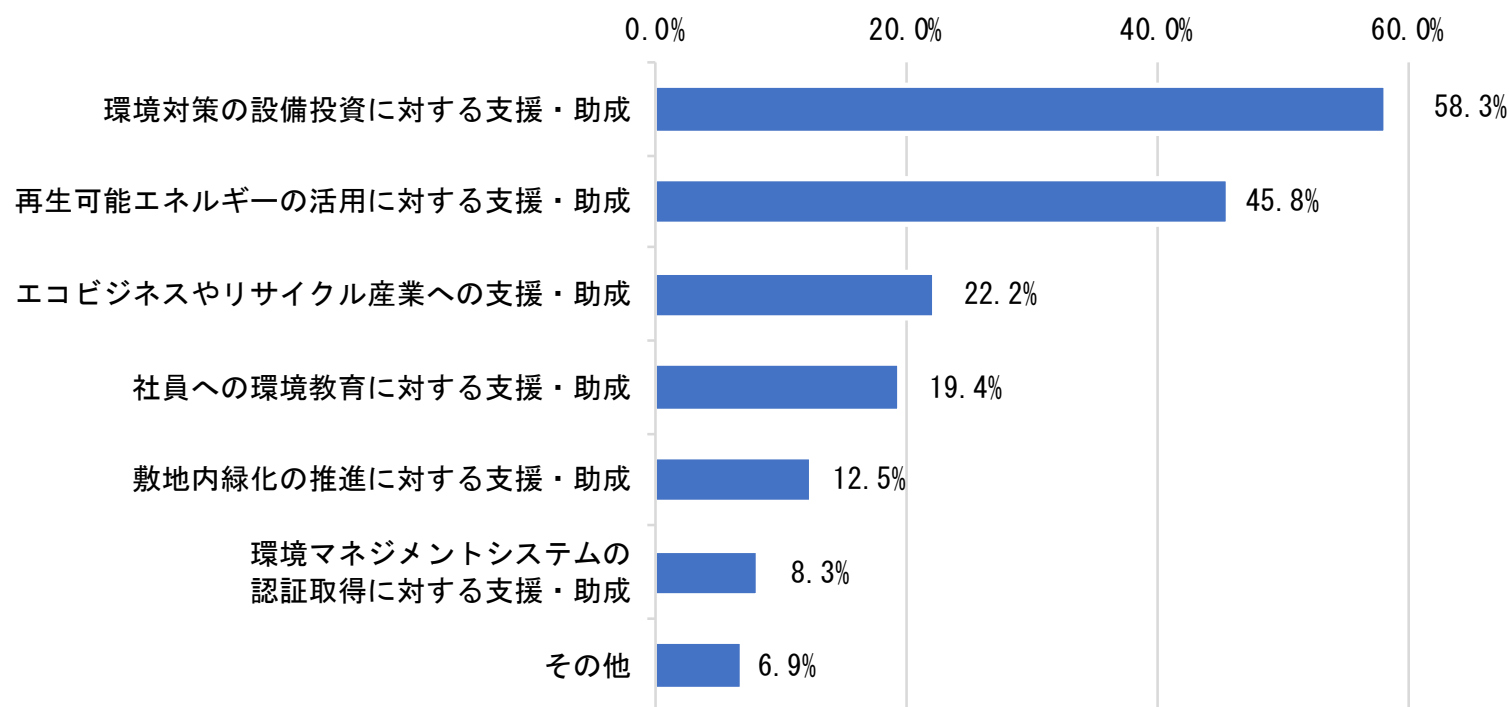




2.1 石狩市が優先して取り組むべき環境対策に関する企業への支援・助成について

・「環境対策の設備投資に対する支援・助成」が約58%で最も多く、次いで、「再生可能エネルギーの活用に対する支援・助成」が約46%であった。

【石狩市が優先して取り組むべきだと思う環境対策に関する企業への支援・助成】





2.2 石狩市の環境状況や取り組みへの意見（自由記述）

・9事業所（12.5%）から、意見が挙げられた。

一部抜粋

- ・環境問題は一市町村の問題ではなく、国家単位で取り組まなければなりません。
- ・枝、葉、草等の処理を無償化してほしいです。
- ・元々緑豊かな土地ではあるが、メンテナンスや手入れが全く出来ておらず、有効活用されていません。
- ・どんな取組をしているのか知らないなので、分かりません。
- ・市外から金属工業団地への公共交通の不便を解消して欲しいです。また、団地内 外食・売店が無いので解消して欲しいです。
- ・石狩市の特徴である風車を含めた景観整備（公園等）と観光の資源化、環境への取組と教育の充実を望みます。また、電力備蓄への財政的支援と具体的計画、環境先進施策と都市バックアップ機能に強化したモデル地域としての構想策定と、実現へのロードマップ作りを行いたいです。

等